

発行 車体発 13 第 195 号

2014 年 3 月 17 日

2014 年度（平成 26 年度）トレーラー国内需要見通し

日本自動車車体工業会トレーラ部会では、2014 年度のトレーラー国内需要見通しをまとめたので発表します。

1. 2013 年度のトレーラー総需要は 5,909 台・前年比 106.0%になるものと見込まれる。主力であるコンテナ用タイプは、2012 年度後半からの国内外の景気低迷回復により、前年比 109.3%となった。また、平床・低床タイプは前年比 110.6%と増加した。このレベルは、台数安定期である 2005 年度から 2007 年度の平均台数(約 8,000 台)比では 73.9%である。
2. 2014 年度については、世界経済は緩やかな拡大基調にはあるものの、新興国の景気下振れリスク等が懸念されまた、国内経済は景気回復への期待と継続した復興需要、東京オリンピック・パラリンピック開催準備に向けた需要などが想定されることから、トレーラー総需要は 6,269 台、2013 年度比 106.1%と見込まれる。

・2014 年度トレーラー国内需要見通し

年 度		2012年度	2013年度	2014年度	対前年比	
		(A)実績	(B)見通し	(C)予測	2013年度 (B/A)	2014年度 (C/B)
合 計		5,575	5,909	6,269	106.0%	106.1%
形 状	コンテナ用	1,502	1,641	1,671	109.3%	101.8%
	バン	1,466	1,473	1,668	100.5%	113.2%
	平床・低床	1,467	1,622	1,711	110.6%	105.5%
	その他特装系	1,140	1,173	1,219	102.9%	103.9%

単位：台

(注) 日本自動車車体工業会でいうトレーラーとは貨物輸送用をいい、キャンピングトレーラー、ボートトレーラーなどは除く。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会事務局：阿部